

松前重義 記念基金だより

第 30 号



創立者 松前重義博士



総長・理事長 松前 義昭

ご挨拶

松前重義記念基金は、東海大学建学50周年記念事業の柱として1993年に設立され、地球市民として未来を創造していく人材の育成、人類の恒久平和と福祉の向上に寄与する研究活動への支援を目的として、奨励賞制度、奨学金制度、助成金制度の三事業において毎年多くの学生・生徒、研究者、指導者等への助成を行っております。

設立当初より、皆様の温かいご支援を賜り、順調な運営ができておりますことに厚く御礼を申し上げますとともに、ここに、2024年度松前重義記念基金の事業報告を申し上げます。

創立者 松前重義の、愛と正義に基づくヒューマンニズムの思想を未来へつなぎ、その理想を達成していくために、更なる事業の拡大・充実等積極的な活動を続けてまいりますので、今後とも皆様の、より一層のご理解あるご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



学校法人 東海大学

記念基金の活動－2024年度事業報告

1993年基金設立当初は、特別教育活動指導者奨励賞と国際活動助成の2種類で出発した事業も現在では、奨学金6種、奨励賞6種、助成1種と様々な活動や学生・生徒等に支援ができるようになりました。

このように松前重義記念基金も多くの方々に支えられて、年毎に事業の拡大・充実をはかることができますことに対し、深く感謝を申し上げます。(学年、身分・役職等は受賞時のものです)

◇2024年度事業

①建学記念論文・小論文・作文・絵画

この奨学金は、学校法人東海大学建学50周年を記念し、創立者松前重義博士が掲げた建学の理想を未来へ継承・発展させていくための人材育成をはかるものです。応募論文等の中から、松前重義博士の建学の理念に啓発された思想を培う独創力豊かな作品を中心に審査され、最優秀賞・優秀賞など入賞者には奨学金が交付されます。

〔大学の部〕 応募数 9

- 課題① マイクロプラスチックによる海洋汚染
課題② 創立者松前重義博士の建学思想に基づく未来への提言

◆優秀賞 東海大学 1名(課題②)

◆入選 東海大学 2名(課題①)

〔中等部・高等学校の部〕

高校生 応募数 11

- 課題① 人生いかに生きるべきか
課題② 他者との関わりあいについて考える

中等部生 応募数 6

- 課題① 人生いかに生きるべきか
課題② あなたが大切にしている言葉とは

◆採択

- 付属相模高等学校 1名(課題②)
付属高輪台高等学校 1名(課題①)
付属静岡翔洋高等学校 1名(課題②)
付属市原望洋高等学校 2名
(課題①1名、課題②1名)
付属静岡翔洋高等学校中等部 5名
(課題①3名、課題②2名)

〔幼稚園・小学校の部〕

小学生 応募数 絵画2 作文4

- 課題① むしのすがたをかいてみよう
(絵画)
課題② 私の好きな本
(作文)

幼稚園児 応募数 17

- 課題① むしのすがたをかいてみよう
(絵画)
課題② だいこうぶつをたべているときのかお
(絵画)

◆採択

- 付属静岡翔洋小学校 絵画1名(課題①)
作文2名(課題②)
認定こども園付属静岡翔洋幼稚園 絵画1名(課題①)
認定こども園付属本田記念幼稚園 絵画1名(課題②)

認定こども園付属自由ヶ丘幼稚園

絵画 1 名（課題①）

認定こども園付属かもめ幼稚園

絵画 1 名（課題②）

②自己研鑽奨学金

この奨学金は、文化活動、スポーツ活動、社会活動、ボランティア活動等の各分野において優れた計画をもち、その実現に努力している学生に対して、その計画が達成できるよう支援するために交付される奨学金です。採用者はその活動結果の報告が義務付けられます。

前期・後期で採用された活動は次のとおり。

＜個人＞ 応募数 9

◆東海大学 5 名

文化活動

○2025年 DCI 参加を目指す

スポーツ活動

○チアダンスの世界大会に挑む

○一輪車競技と学問の両立のための支援

○ダブルダッチ

社会活動

○オンライン記事・コラム発信

＜グループ＞ 応募数 1

◆東海大学 1 件

ボランティア活動

○東海大学に無料レンタルサイクリングを！

③松前重義留学生奨学金

この奨学金は、国際交流による世界平和の具現化と国際的な視野に立った人材の育成を目的として、対象となる留学生に交付されます。

◆東海大学

〈春学期採用〉

新入生（一般入試）

第 1 種 湘南キャンパス 2 名

第 2 種 湘南キャンパス 5 名

札幌キャンパス 2 名

在学生

第 1 種 湘南キャンパス 4 名

札幌キャンパス 1 名

第 2 種 湘南キャンパス 39 名

品川キャンパス 7 名

熊本キャンパス 3 名

臨空キャンパス 1 名

札幌キャンパス 4 名

以上 採用期間 2024 年 4 月 1 日～

2024 年 9 月 30 日

〈秋学期採用〉

在学生

第 1 種 湘南キャンパス 5 名

臨空キャンパス 2 名

札幌キャンパス 1 名

第 2 種 湘南キャンパス 51 名

品川キャンパス 7 名

熊本キャンパス 3 名

札幌キャンパス 6 名

以上 採用期間 2024 年 10 月 1 日～

2025 年 3 月 31 日

④河上益夫・内田莊祐奨学金

この奨学金は、熱意を持って卒業研究を遂行し、優れた成果が期待される東海大学工学部材料科学科在籍の学生に交付されます。

◆東海大学

工学部材料科学科 4 年

採用者 5 名の研究テーマ

○セラミックス表面へのメタライズ層の形成と評価

○アモルファスシリコンからナノ結晶への相転移に伴う熱輸送特性の変化

○W 添加 Nb₃Sn 超伝導線材の W の拡散挙動

○TiN-CaB₆ セラミックスの酸化挙動

○BM 処理した TiFe 水素吸蔵合金の水素反応性

⑤学業奨励奨学金

この奨学金は、入学後特別な理由が発生し、経済的に困窮した初等中等教育機関の生徒に交付されます。

◆付属浦安高等学校	4名
◆付属相模高等学校	3名
◆付属高輪台高等学校	3名
◆付属静岡翔洋高等学校	5名
◆付属静岡翔洋高等学校中部	2名
◆付属熊本星翔高等学校	3名
◆付属諏訪高等学校	5名
◆付属札幌高等学校	5名
◆付属福岡高等学校	3名
◆付属大阪仰星高等学校	4名
◆付属大阪仰星高等学校中部	1名
◆付属市原望洋高等学校	4名
◆付属甲府高等学校	3名
◆山形高等学校	5名
合計	50名

⑥内木文英奨学金

この奨学金は、建学の理念を理解し、生涯学習の継続意思をもった経済的援助を必要とする付属望星高等学校の生徒に交付されます。

2名

⑦特別教育活動団体・指導者奨励賞

この奨励賞は、学園の学生、生徒、児童の健全なスポーツ、文化活動等、その特別教育活動にあたり、顕著な実績を収めた団体及びその指導者の業績を讃えるもので、併せて奨励金が交付されます。

【特別教育活動団体奨励賞】

◆東海大学

男子柔道部

2024年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会（男子26回） 優勝

女子柔道部

2024年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会（女子16回） 優勝

ボディビル部

第58回全日本学生ボディビル選手権大会男子フィジークの部 優勝

吹奏楽研究会

第72回全日本吹奏楽コンクール（大学の部）金賞受賞

男子ライフセービングクラブ

第39回全日本学生ライフセービング選手権大会 優勝

女子ライフセービングクラブ

第39回全日本学生ライフセービング選手権大会 優勝

◆付属高輪台高等学校

吹奏楽部

第72回全日本吹奏楽コンクール（高等学校の部）金賞受賞

◆付属札幌高等学校

吹奏楽部

第72回全日本吹奏楽コンクール（高等学校の部）金賞受賞

◆付属相模高等学校中部

柔道部

2024年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会（男子団体戦） 優勝（二連覇）

◆菅生高等学校中部

女子ソフトボールクラブ

第46回全国中学校ソフトボール大会（女子の部） 優勝

【特別教育活動指導者奨励賞】

◆東海大学

上水 研一朗 男子柔道部 監督

塚田 真希 女子柔道部 監督

有賀 誠司 ボディビル部 部長教員

大越 正大 男子・女子ライフセービングクラブ 部長教員

◆付属高輪台高等学校

畠田 貴生 吹奏楽部 顧問

◆付属札幌高等学校

井田 重芳 吹奏楽部 顧問

◆付属相模高等学校中部

高橋 陸 柔道部 監督

◆菅生高等学校中部

村田 隆一 女子ソフトボールクラブ 顧問

〔「主な受賞者インタビュー」6ページ参照〕

⑧松前信子奨励賞

この奨励賞は、学園の創立者松前重義博士とともに人生を歩み、学生からは「学園の母」と慕われ、今日の望星学塾及び学園の礎を築いた松前信子夫人の偉業を顕彰し、特に学園の優秀な女性を表彰することによって、夫人の遺志を永く継承するものであり、併せて奨励金が交付されます。

◆東海大学

山口 広子 生物科学研究科生物科学専攻3年
糖代謝由来 AGEsの病態マーカーとしての活
用法に関する功績

高橋 姫乃 生物科学研究科生物科学専攻1年
フマル酸由来翻訳後修飾物 2SCの特異的測
定に関する功績

⑨巽良知研究奨励賞

この奨励賞は、東海大学電気系指定学科の優秀な研究を行った教職員又は団体を表彰するものであり、併せて奨励金が交付されます。

◆東海大学

土屋 秀和

情報理工学部コンピュータ応用工学科 講師
半導体及び半導体実装基板の信頼性向上に関
する研究

⑩国際活動助成

この助成は、世界の平和と人類の発展に寄与するためのすべての国際交流活動及び学園の向上発展に寄与する各種対外活動を支援するものであり、併せて助成金が交付されます。

◆東海大学

「タイ王国ランシット大学国際病院開設プロジ
ェクトへの参画」

意見・情報交換の実施

〔団体代表者〕

医学部付属病院診療技術部臨床工学技術科

西原 英輝 科長

「ITS（高度道路交通システム）研究と国際的
な標準化活動」

ITS世界会議 2025（アトランタ）への参加

〔個人〕

観光学部観光学科 佐藤 雅明 准教授

2024年度 学校法人東海大学 松前重義記念基金奨励賞・助成授与式



2024年度松前重義記念基金奨励賞・助成の授与式が、松前重義賞伝達式、学園スポーツコーチングアワード授与式と合同で2025年1月15日午後4時から東海大学渋谷キャンパスで挙行されました。

「松前重義賞は、建学の精神に基づき、文化・スポーツ・学術研究の分野において、顕著な成績、業績を収めた者に対して授与されます。

一方、松前重義記念基金奨励賞・助成は、創立者松前重義博士の偉業を顕彰し、その理念を継承することで、学園における人材育成と諸活動の向上発展と国際交流活動に寄与することを目的として授与さ

れるものであります。

2024年度松前重義記念基金奨励賞・助成は、特別教育活動団体・指導者奨励賞をはじめとして11団体・12名を表彰することにいたしました。

この松前重義賞や松前重義記念基金の活動、並びに学園スポーツコーチングアワードが、今後学園の益々大きなエネルギーになっていくことを期待します」との松前義昭総長・理事長からの挨拶に続き、表彰に移り、受賞者一人ひとりに表彰状と奨励金が贈られました。授与終了後は、松前重義賞学術部門受賞者による業績発表が行われました。

主な受賞者

インタビュー～

身分・役職等は受賞時のもの

ここでは、「特別教育活動指導者奨励賞」を中心とした主な受賞者のなかから、受賞に関するインタビューを掲載いたします。また、下のQRコードから、受賞者のコメントを含む授与式の動画がご覧になれます。

<https://www.tokai.ac.jp/donation/report/>

上水 研一朗 東海大学教授
東海大学男子柔道部
監督

●特別教育活動指導者奨励賞

(2024年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子26回)において、同部を優勝へ導いた功績)

体重別団体優勝大会は、どの階級の選手から戦うかという配列が抽選で決められ、しかも大会初日終了後にもう一度抽選が行われるため、こちらの狙い通りの選手起用がなかなかできません。団体戦は後半になればなるほどプレッシャーが強くなるため、プレッシャーに強い後半向きの選手が前半に来てしまうと、どうしてもチームの雰囲気は乱れてしまいます。それがこの大会でまだ3連覇を達成した大学がない理由です。そんななかで今回優勝できたのは、メンバー全員が最悪の事態を考え、どんなことが起きてもすべて想定内として対処できるように、しっかりと準備してきたからだろうと思っています。

塚田 真希 東海大学准教授
東海大学女子柔道部
監督

●特別教育活動指導者奨励賞

(2024年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(女子16回)において、同部を優勝へ導いた功績)

全員がフラットな形で自律的に組織目標に向かって動いていく「ティール組織」という新しい組織理論を知り、現在の柔軟な学生には合うのではないかと思ったため、今回は新たな試みとして全員キャプテン制を導入してみました。大会や柔道部のイベントごとにリーダーや役割を変え、全員がチームの目標のために自律的に行動するという方法をとったのです。三連覇できたのは、こうしたチーム作りが功を奏したのかもしれません。今年度は全日本女子代表の監督に就任したため総監督になりましたが、今井新監督のサポートと合わせて、できるだけ現場に出て学生の指導に携わっていきたいと思っています。

有賀 誠司

東海大学教授
東海大学ボディビル部
部長教員

●特別教育活動指導者奨励賞

(第58回全日本学生ボディビル選手権大会男子フィジークの部において、同部を優勝へ導いた功績)

1、2年生に対してこれまでよりも手厚いサポートを心がけ、とくに2年生が急成長を遂げたことが今回の結果につながりました。湘南キャンパスの学生だけでなく、他のキャンパスの学生もどんどん集まってきており、中には入部前から競技に出場して実績を積んだ選手が3年、4年生で入部するケースも増えてきました。こうした東海大学ならではの特長もうまく活かすことができたと思っています。ボディビルは一人ひとりの体調や個人の特性に合った筋肉の発達ということが求められる競技のため、今回いただいた賞を励みに、初心を忘れず、個性を大事にした指導につなげていきたいと思っています。

大越 正大

東海大学教授
東海大学男子・女子ライフセービングクラブ
部長教員

●特別教育活動指導者奨励賞

(第39回全日本学生ライフセービング選手権大会において、同クラブ男子並びに女子を優勝へ導いた功績)

ライフセービングという競技の最大の特徴は、その競技に勝つことが、人の命を救うことにつながっていることだと思っています。そのため、この究極の目標を忘れずに活動することで、学生は人として大きく成長していくはずです。技術だけでもだめだし、体力だけでもだめで、心の部分を鍛えていくということが非常に大切な競技でもあるため、心技体をバランスよく育てていくことを心がけています。競技としてのライフセービングには3つの全国大会があります。次年度以降は、この究極の目標を忘れず、3大会すべてに優勝し完全優勝で年間シリーズを終えることを目標に努力してまいります。

畠田 貴生

東海大学付属高輪台高等学校教諭
東海大学付属高輪台高等学校
吹奏楽部顧問

●特別教育活動指導者奨励賞

(第72回全日本吹奏楽コンクール（高等学校の部）において、同部を金賞へ導いた功績)

子どもたちの努力と、支えてくださる保護者の皆さん、学校の関係者の皆さん、講師の皆さんの努力のおかげだと改めて感謝しています。「何を食べさせたらこんな演奏ができるのか」などと聞かれることもよくありますが、本当に特別なことは何もしておらず、毎日コツコツと基礎的なことをしっかりやっているだけです。ただし、楽器の演奏が技術的に上達する練習と、音楽を心の底から楽しめるような環境作りといったことには心を砕いています。この賞は子どもたちがもらったものだと思っています。1年に1度子どもたちの頑張りを噛みしめるという意味で、個人的には非常に大きな賞だと思っています。

井田 重芳

東海大学付属札幌高等学校特任教諭
東海大学付属札幌高等学校
吹奏楽部顧問

●特別教育活動指導者奨励賞

(第72回全日本吹奏楽コンクール（高等学校の部）において、同部を金賞へ導いた功績)

このコンクールにはこれまで41回連続で出場し、25回金賞をいただいておりますが、どの年も本当に大変で、余裕があったことは一度もありません。音楽はいくらやってもこれでいいというものがありませんから。それでもこうして評価していただけるのは、本校のめざす「北海道らしい雄大なサウンド」を奏でるため、冬場と春先は徹底して基礎練習に取り組んでいるからではないかと思っています。この時期にいい音や響き、サウンドの追求に力を入れれば、夏秋になって花開くことを生徒も知っているからです。これからも作曲家の意志や思いに忠実に、おおらかな演奏をお届けしてまいりたいと思います。

高橋 陸

東海大学付属相模高等学校中部教諭
東海大学付属相模高等学校中部
柔道部監督

●特別教育活動指導者奨励賞

(2024年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会において、同部を男子団体優勝(二連覇)へ導いた功績)

中学がゴールではなく、高校や大学、さらには社会人になってから輝くことを理念としているため、基本的には目先の勝敗にはこだわっていません。今回は、不器用なタイプの子どもたちが多く、その色に合わせた練習に行き着くのにかなり時間がかかりました。不器用ゆえに1つのことにひたむきに取り組むことができるのも一種の才能で、生徒たちは一生懸命、ふさわしい熱量を持って練習に取り組んでくれました。柔道部は高校、大学も含めた10年一貫教育をとくに意識しており、「未来で輝く土台づくり」というテーマのもと、自身も常にアップデートしながら生徒に向き合っていきたいと思っています。

村田 隆一

東海大学菅生学園初等学校教諭
東海大学菅生高等学校中部
女子ソフトボールクラブ顧問

●特別教育活動指導者奨励賞

(第46回全国中学校ソフトボール大会(女子の部)において、同クラブを優勝へ導いた功績)

全国の名だたるチームと練習試合を繰り返し、かなりいい線まで来ているという感覚はありましたが、全国大会初出場初優勝という成績は、正直想像していませんでした。練習試合終了後にできなかったこと、できたことを毎回総括して次に活かすということに、子どもたちが自主的に取り組んだことが結実したのだろーと思います。ソフトボール未経験者がいるチームで優勝できたことにも大きな価値があると思います。子どもたちがソフトボールを通して身につけた自主性や、考える力、先を見通した行動力などは、確実に将来の生きる糧になるはずで、その力で未来を切り開いてほしいと願っています。

山口 広子

東海大学大学院
生物科学研究科生物科学専攻
3年次

●松前信子奨励賞

(糖代謝由来AGEsの病態マーカーとしての活用法に関する功績)

これまでの研究がこうした形で評価されたのは嬉しく思いますし、支えてくださった皆さんにも感謝いたします。この研究では、私たちの体内で生成される老化物質であるAGEs(終末糖化産物)が、体にどのような影響を及ぼすのか、病気とどのように関わっているのかを調査しています。AGEsは糖類の過剰摂取により蓄積するため、その先にある疾病としては糖尿病がまず思い浮かびます。そこで糖尿病患者の方を対象に、合併症でAGEsがどう動くのかを研究しています。生活習慣病は気づかないうちに進行してしまうので、そうなる前に発症リスクがわかるような早期感知につなげたいと思っています。

高橋 姫乃

東海大学大学院
生物科学研究科生物科学専攻
1年次

●松前信子奨励賞

(フマル酸由来翻訳後修飾物2SCの特異的測定に関する功績)

脂肪細胞の肥大化は、糖尿病の原因の一つとされています。このとき、脂肪組織では慢性炎症に伴う代謝異常が生じており、本研究ではその詳細な機序を解明するために代謝異常に着目しました。フマル酸は代謝異常によって蓄積する代謝産物の一つであり、タンパク質中のシステインと反応し、翻訳後修飾物2SCを形成します。2SCは代謝の阻害にも関与しており、その生成経路や病態との関連性を明らかにすることで、糖尿病の早期診断や治療に役立つと考えられます。2SCは近年発見されたばかりの物質で、研究はまだ始まったばかりです。今回の受賞を機に、自身の研究をしっかりとアピールしながら進め、社会に貢献したいと考えています。

土屋 秀和

東海大学情報理工学部
コンピュータ応用工学科
講師

●異良知研究奨励賞

(半導体及び半導体実装基板の信頼性向上に関する研究)

スマホやコンピュータに不可欠なCPUやGPUなどの大規模半導体は、製造段階で多くの不良が発生します。見つけるには半導体の全機能を試す必要がありますが、チェック中に熱暴走することもあるため、熱暴走しないようにクロック数を調整できるチェック回路の研究を行っています。もう一つは、半導体を実装された基盤の検査で使用するバウンダリスキャンと呼ばれるテストにおいて、テストパターンを自在に生成できるような技術の開発を行っています。どちらも縁の下の力持ち的な研究ではありますが、安心・安全な社会に貢献する重要な研究として認識していただければありがたいと思います。

佐藤 雅明

東海大学観光学部観光学科
准教授

●国際活動助成

(ITS (高度道路交通システム) 研究と国際的な標準化活動)

メインで研究しているのは、自動車の走行情報を集め、渋滞箇所をリアルタイムで表示させることができるプローブ情報システムです。日本で実験して有効性が確認できた仕組みをIOS(国際標準化機構)に提案し、日本のプローブ情報システムを国際標準にすることができれば、一番の成果になると思っています。このような研究は純粋な学問研究というより、産業界と大学の研究の架け橋になるような研究で、なかなか大学から表彰していただく機会は少ないため、今回の受賞を大変嬉しく思っています。これを機に大学の研究成果を社会に還元し、より良い社会を創出する活動に力を入れていくつもりです。

【団体代表者】

西原 英輝

東海大学医学部附属病院
診療技術部臨床工学技術科
科長

●国際活動助成

(タイ王国ランシット大学国際病院開設プロジェクトへの参画)

昨年度に続き2年連続でこのような賞をいただき感謝しております。今回は我々のカウンターパートであるランシット大学の大学病院建設にあたり、我々臨床工学士が持っている技術やスキル、経験を共有することで、患者さんの安全管理に寄与できる職種の有効性を知ってもらおうということで活動しています。ただ、タイにも似た資格制度があり、その有資格者に日本の臨床工学士のような臨床業務を追加するのは一筋縄ではいかず、そのあたりの調整はこれからの課題だと思っています。今後も引き続きタイとの間で国際活動を行いながら、本学がめざすグローバル大学化に寄与したいと考えています。

※異良知研究奨励賞及び国際活動助成は、2025年度予算の対象

2024年度決算報告・2025年度予算および事業計画

2024年度決算では原資が155億円に達しました。利息（運用益）は1億9,380万円となり、事業も順調に運営されております。

2024年度決算報告

○学校法人東海大学松前重義記念基金

※収入の部

寄付金	504,750,701円
「新高校現代文明論」他印税代	532,620円
運用益	193,802,983円
東海大学松前重義記念基金返還金	466,819,172円
前年度より繰越金（有価証券含む）	14,389,277,663円
合計	15,555,183,139円

※支出の部

松前重義留学生奨学金	29,179,500円
建学記念奨学金（大学の部）	200,000円
建学記念奨学金（高校・中等部の部）	400,000円
建学記念奨学金（小学校・幼稚園の部）	50,000円
自己研鑽奨学金	1,639,520円
河上益夫・内田荘祐奨学金	100,000円
内木文英奨学金	200,000円
学業奨励奨学金	5,000,000円
特別教育活動指導者奨励賞	3,600,000円
特別教育活動団体奨励賞	4,600,000円

特別教育活動奨励賞（個人）	0円
松前信子奨励賞	400,000円
牧野不二雄奨励賞	0円
巽良知研究奨励賞	300,000円
国際活動助成	900,000円
松前重義賞学術部門副賞	2,000,000円
学園スポーツコーチングアワード副賞	100,000円
事業費拠出繰延額（学業奨励奨学金）	△500,000円
有価証券調整額	676,944円
次年度への繰越金（有価証券含む）	15,506,337,175円
合計	15,555,183,139円

2025年度予算および事業計画

2025年3月に開催された常務理事会において、2025年度予算および事業計画について審議され、下記のとおり決定いたしました。

○学校法人東海大学松前重義記念基金

1. 事業予算

○運用益見込額 259,140千円

2. 事業計画 74,650千円

①松前重義留学生奨学金 41,000千円

②建学記念奨学金〈大学の部〉 700千円

③建学記念奨学金〈高校・中学の部〉 400千円

④建学記念奨学金〈小学校・幼稚園の部〉 50千円

⑤自己研鑽奨学金 4,500千円

⑥河上益夫・内田莊祐奨学金 100千円

⑦内木文英奨学金 300千円

⑧学業奨励奨学金 5,000千円

⑨特別教育活動指導者奨励金 5,000千円

⑩特別教育活動団体奨励金 5,000千円

⑪特別教育活動奨励金（個人） 1,000千円

⑫松前信子奨励金 1,000千円

⑬牧野不二雄奨励金 2,000千円

⑭巽良知研究奨励金 300千円

⑮国際活動助成金 2,500千円

⑯松前重義賞学術部門副賞 2,500千円

⑰学園スポーツコーチングアワード副賞 300千円

⑱予備費・その他の助成 3,000千円

新たな未来を拓く

松前重義記念基金は、学園の創立者松前重義の理想を継承・発展させるために1993年11月に設立されてから31年が経過し、今日に至っております。原資も前期末にて、155億円を超えました。お陰様でその果実をもって運営されている交付事業は、多数の学生生徒等に還元することができております。これも偏に、本基金の趣旨にご賛同いただきました皆様のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

これからも更に多くの学生生徒等へ、学業のみならず学園生活におけるより多くの活動場面で後押ししてまいります。皆様には、そのための原資拡大に向け、本基金の趣旨をご理解いただき、今後とも継続したご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆**募金名称**：学校法人東海大学松前重義記念基金

◆**募金区分**：個人 1口1万円 企業等法人 1口5万円
個人・法人ともに口数・金額にかかわらず、お受けいたします。

◆**寄付金の申込方法及び振込方法**：

〈個人でご寄付いただく場合〉①もしくは②のいずれかの方法をお選びください。

①払込用紙を利用

専用の振込用紙（払込取扱票）に必要事項をご記入のうえ、最寄りの金融機関からお払い込みください。

②クレジット決済を利用

以下のURLまたはQRコードにて所定の申込フォームよりお手続きください。

<https://fundexapp.jp/tokai/entry.php>



〈企業等法人でご寄付いただく場合〉

専用の「寄付申込書」に必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。本学に「寄付申込書」が到着後、振込先口座等のご連絡をさせていただきます。

※誠にお手数ではございますが、「専用の振込用紙」・「寄付申込書」をご希望の場合は、右記お問い合わせ先の電話またはメールにてご請求ください。なお、「寄付申込書」は「学校法人東海大学 基金・寄付金サイト」からもダウンロードすることができます。また、資料ご請求にあたっては、「連絡票」ハガキもご利用いただけます。通信欄に「専用用紙希望」とご記入のうえ、ご投函ください。

◆**税制上の優遇措置**：個人・企業等法人ともに受けられます。

（注1）

個人の寄付金の所得税について、「税額控除制度」か「所得控除制度」のいずれか一方を選択して確定申告を行うことで所得税が還付されます。税額控除制度は、「所得税額」から寄付金額を控除できる制度です。控除額は所得税額や寄付金額等、個々の条件で異なりますが、一般的に1万円のご寄付で3,200円、10万円で39,200円が還付されます。所得控除制度は、「課税所得金額」か

ら寄付金額を控除できる制度です。詳しくは国税庁のホームページでご確認いただけます。

〔国税庁ホームページ◇タックスアンサー（よくある税の質問）〕

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/index2.htm>〕

（注1）「学校の入学に関してする寄附金」は、優遇措置を受けることができません。

個人の寄付金の住民税控除について

各自治体が条例で指定している場合、「住民税額」から直接控除する制度です。（都道府県民税4%、市区町村民税6%）

（注2）住民税控除は全国一律ではありませんので、ご注意ください。詳しい内容は総務省又は都道府県、市区町村のホームページ等で確認いただけます。

（総務省ホームページ>3 都道府県・市区町村が条例で指定する団体への寄附金について）

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei-seido/79172_2_kojin.html

企業等法人について

寄付金額を全額損金として取り扱うことのできる「受配者指定寄付金制度」や「特定公益増進法人に対する寄付」として取り扱うことができます。

「受配者指定寄付金制度」は、私立学校の教育研究の発展に寄与するために、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付者（企業等法人）が指定した学校法人へ寄付をしていただく制度です。法人税法上、寄付金額の全額を当該事業年度の損金の額に算入することが認められています。決算月にご寄付をいただく場合は、決算月の15日頃までにご送金の手続きをお願いいたします。

「特定公益増進法人に対する寄付」は、一般の寄付先に対する寄付の損金算入限度額とは別枠で、当該事業年度の損金に算入することができます。

〔領収証について〕

領収証の再発行はいたしませんので、振込票の受領証部分は大切に保管してください。（確定申告の手続きをされる場合には、受領証部分をご使用願います。）ただし、別途ご入用の場合には、事務局にお問い合わせください。

◆お問い合わせ先◆

学校法人東海大学 松前重義記念基金事務局

電話 03-3467-2211(代表)

メール : bokin@tokai.ac.jp

<https://www.tokai.ac.jp/donation/>

事務局より

学校法人東海大学は、2042年の建学100周年に向けた総合戦略である「学園マスタープラン」を指針として、更なる教育・研究環境の充実に向けた整備を進めております。

80周年にあたる2022年には、東海大学の全学的な学部の改組改編を実施し、23学部を整備いたしました。また、2023年には、熊本地震で甚大な被害を受けた農学部と大学院農学研究科の新たな学び舎となる「阿蘇くまもと臨空キャンパス」が竣工の運びとなり、全国のキャンパスにて教育研究活動を展開しております。

2024年度の松前重義記念基金におきましては、概ね例年並みの事業運営を行うことができました。これも偏に、皆様からの

温かいご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

このたび、2024年度決算及び事業報告を『松前重義記念基金だより』として発行させていただきました。また、学校法人東海大学のオフィシャルサイトでも、本基金の活動状況、実績報告を掲載しておりますので、併せてご高覧ください。

なお、個人情報保護の観点から、奨学生氏名は一部掲載を控えさせていただきますので、何卒ご了承願います。

創立者松前重義が目指した人材育成等の一助となるべく、より一層の事業充実を図って行く所存でございます。皆様におかれましても、本基金に対するご意見、ご要望などがございましたら、事務局までお寄せください。

■2025年6月20日発行

松前重義記念基金だより 第30号

■編集・発行／学校法人東海大学 理事長室総務担当

〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-10-2 TEL.03-3467-2211(代表)